



県ホームページ(置賜総合支庁: http://www.pref.yamagata.jp/regional/okitama_bo)でもご覧頂けます。

平成27年8月1日発行 発行元 / 山形県置賜総合支庁 No.141

めざみ祭夏2015(飯豊町) 8月14日(金)~16日(日)に、いいでめざみの里観光物産館で開催されます。特産品の販売や家族みんなで楽しめるイベントが盛りだくさん! 15日には中津川の雪室から運んだ雪で雪遊びができます。(産業経済企画課観光振興室)

事業報告 平成27年度第1回置賜地域議員協議会

☎総務課 0238-26-6006



置賜地域における課題や施策展開に関する調査・審議を行う、平成27年度第1回置賜地域議員協議会が、管内から選出された8名の県議会議員の出席のもと、7月24日(金)、置賜総合支庁講堂において開催されました。

審議においては、秋葉総合支庁長から、地方創生やポストDCの取組状況、吉野川等災害復旧事業の進捗状況、農作物の生育状況等について説明を行った後、質疑が行われました。

質疑では、高速道路の整備に伴う企業誘致の推進、高齢者の就業促進による健康寿命の延伸、山形鉄道の経営改善に向けた取組状況、管内有効求人倍率の分析と対策、観光庁事業選定のメリットを活かした新たな観光振興の取組み、特別支援学校の整備に係る今後の見通し、新道の駅設置に係る広域連携の推進等、県政全般について活発な議論が交わされました。

管内有効求人倍率の分析と対策、観光庁事業選定のメリットを活かした新たな観光振興の取組み、特別支援学校の整備に係る今後の見通し、新道の駅設置に係る広域連携の推進等、県政全般について活発な議論が交わされました。

事業報告 万世大路を歩く会

☎建設総務課 0238-26-6099

明治の初期、米沢・福島間の交通や物流を便利にし、山形県と福島県が共に発展するため、現国道13号の前身である『万世大路』が整備されました。

先人の意を汲み、山形、福島両県が今後も発展するよう、米沢市等で開催している一般の方を対象とした会とは別に、山形県と福島県の行政関係職員を対象とした「万世大路を歩く会」を7月11日に実施しました。

当日は、梅雨の最中ではありましたが天気にも恵まれ、絶好の条件のもと57名が参加し、万世大路を歩きました。先人が造り、通った道路・隧道を見て、体感して、そのありがたみを実感したところです。



参加した方々のご協力により、一人のけが人を出すことも無く成功裏に終了することができました。

トピックス 不法投棄防止の取組み ☎環境課 0238-26-6034

●不法投棄削減強化月間報告

5月の不法投棄及び海岸漂着ごみ削減強化月間では、不法投棄防止の啓発活動やパトロールを集中的に行ったほか、不法投棄箇所、地区住民と原状回復作業を行いました。

不法投棄は「犯罪」です。不法投棄をしない、させない、許さないを徹底し、不法投棄のない山形県を目指します。

●廃棄物適正処理・3Rに関するポスター・川柳募集!

置賜地域の小学4年生から中学3年生までの児童生徒を対象に廃棄物の適正処理や3R(リデュース・リユース・リサイクル)に関するポスター・川柳を募集しています。



平成26年度最優秀賞
南陽市立沖郷小学校
高橋さんの作品

■応募締切 : 平成27年9月2日(水)

■応募先及び問い合わせ先

置賜総合支庁環境課廃棄物対策担当

〒992-0012 米沢市金池7丁目1-50 TEL0238-26-6034

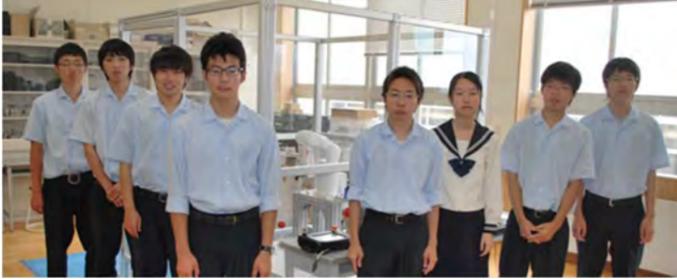
大峠トンネル防災訓練

交通規制: 9月10日(木)10時から

一般国道121号大峠トンネル内において車両火災を想定した防災訓練を実施いたします。訓練に伴い交通規制を行いますのでご理解とご協力をお願いいたします。

- 日時 : 9月10日(木)9:30~12:00
- 場所 : 一般国道121号大峠トンネル米沢側坑口
- 交通規制 :
 - 全面通行止め(10:00~10:40)40分間
 - 大峠トンネル米沢側坑口から大峠・日中総合管理事務所までの約10km
- 米沢市から喜多方市へ向かう際の迂回路
 - ①国道13号→国道115号→国道49号
 - ②県道米沢猪苗代線→国道459号

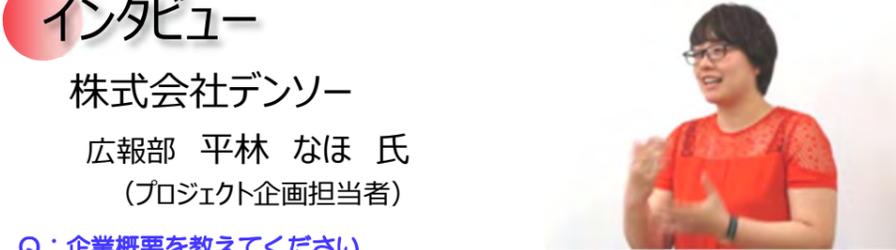
☎道路計画課 0238-26-6080



インタビュー

株式会社デンソー

広報部 平林 なほ 氏
(プロジェクト企画担当者)



Q: 企業概要を教えてください。

当社は愛知県刈谷市にある総合自動車部品メーカーです。1949年の創業以来、先進的自動車技術、システム、製品の開発に取り組んでおり、今日では38の国と地域において14万6千人の従業員を有するグローバル企業です。

Q: 今回のプロジェクトの企画趣旨は?

工業高校生とデンソーがコラボしてけん玉ロボットの開発に挑戦するプロジェクトです。次代を担う高校生にもものづくりの経験を通してその楽しさや楽しさを知っていただきたいという思いからスタートしました。完成したロボットは10月開催のシーテックジャパン2015(※)でお披露目します。

Q: 長井工業高校を選んだ理由は?

競技用けん玉生産量日本一を誇る長井市の工業高校であり、ものづくりの人材育成に熱心な学校であること、そして、ロボットを通じて当社とご縁があったことからご協力をお願いしました。

Q: ものづくり人材育成の重要性とは?

自動車部品の進歩を支える最高水準のものづくりを推進するのは人の力です。当社は1954年に社内に技能者養成所を設立し、「ものづくりは人づくり」という考えのもと人材育成に力を入れています。

Q: 若者への応援メッセージ

ロボットがより身近になる時代が来ると言われています。今回のプロジェクトが、これから社会に出て活躍される皆さんにとって有意義な経験となればうれしく思います。

※シーテックジャパン(CEATEC JAPAN: Combined Exhibition of Advanced Technologies)は、毎年10月に幕張メッセで開催されるアジア最大級のIT・エレクトロニクス関連の国際展示会。



長井市 商工観光課 商工振興係長 福田 裕行 氏

一般財団法人置賜地域地場産業振興センター 企画部主査 青木 和美 氏

Q: プロジェクトをきっかけとした本年度の人材育成の取組みは?

青木: 長井工業高校の生徒が7月下旬に(株)デンソーを訪問して、最先端のロボット工場の見学研修や同じくプロジェクトに参加した愛知県立刈谷工業高等学校、デンソー工業学園との交流を行いました。10月には、プロジェクトの成果発表が行われるシーテックジャパン2015の見学研修を予定しています。

Q: ものづくり人材育成の重要性とは?

福田: 地域の若い人材には最先端の技術に肌で触れ、ものづくりに対する意識を高めてもらいたいですね。人材育成事業は、すぐに成果の出るものではなく、継続していくことが重要ですが、地域の企業や団体が単独で取り組むことは大変なことです。「ものづくりは人づくり」と言われるように、地域の産業振興のため、引き続き積極的にバックアップしていきたいと思えます。

Q: 若者への応援メッセージ

青木: プロジェクトに参加した生徒達は、社会人と接することで、多様な価値観や仕事観に触れることができたと思います。今後とも自身の体験を積み、様々なものを肌で吸収し、次代の産業をリードする技能技術者を目指してもらいたいです。

福田: 自らの学んだこと、体験したことを仕事に生かし、地域産業の振興の一翼を担ってもらえればと思います。

高校生けん玉ロボットプロジェクト – 若者に対する“ものづくり”人材育成の取組み –

山形県立長井工業高等学校の生徒が、自動車部品総合メーカーの株式会社デンソーが企画・実施する『高校生けん玉ロボットプロジェクト』に参加し、ロボットにプログラミングを行い、けん玉の様々な技に挑戦しています。置賜総合支庁と長井市では、(一財)置賜地域地場産業振興センターを通じて、このプロジェクトをきっかけとした人材育成の取組みを支援していますので、その内容とプロジェクトに参加する生徒や関係者の思いをご紹介します。

長井工業高等学校

電子システム科 3年
東海枝 秀斗 さん
鈴木 花奈 さん



Q: プロジェクトに参加した理由は?

鈴木: 中学生のときからプログラムに興味を持っていて、高校でも学んでいます。ロボットのプログラムを組み立てると聞いて、学んだことを実践するいいチャンスだと思い参加を希望しました。

東海枝: ものづくりが好きで、プライベートで3D動画の作製等をしています。学校では電気系を専攻していて、プログラムは専門分野ではないけど、いい経験になると思い参加しました。

Q: プロジェクトに参加した感想は?

鈴木: ロボットの動きを立体的に捉えるのが少し苦手かなと感じました。だからプログラムの組み立て以外にも、ロボットが持つけん玉を静止させたり、動作確認のための動画撮影、ロボット操作など、自分ができることはしましたね。

東海枝: 本当に試行錯誤でした。プログラムを組んで実際にロボットがどう動くのかを確認する、その繰り返しでした。作業の合間に実際にけん玉をして人の動きをイメージしたり、もっといい方法はないか考えてプログラムを組みました。試行錯誤を経て一つのことを成し遂げたことは自信にもつながったし、多くの知識を得られ、スキルも上がったと感じています。

鈴木: 知識や技術のことに加えて、私の場合は、一つの目標に向かって、普段はあまり話すことのない男子生徒とも雑談をしながら一緒に笑いあえたことが大きかったですね。

Q: 将来の夢は?

東海枝: まだ具体的な夢はないです。今は、ほぼ自己満足でものづくりをしています。つくったものが、他の人に評価されたり、役立てばもっと達成感を得られると思います。そういった面では、将来、機械や製品の設計に携われたらいいなと思います。

鈴木: 夢を語るのになかなか恥ずかしいですね。私がプログラムに興味があるのは、自分のイメージした世界感をゲームを通じて表現したいと思っているからです。夢はいろいろありますが、その一つはゲームのプランナーやクリエイターです。これからもプログラムを学んでいきたいですね。

けん玉ロボット



長井工業高等学校

電子システム科 科長 蹄 茂美 氏

Q: プロジェクトに参加した感想は?

プロジェクトに参加した生徒は、得意とする技術やものづくりに興味を持っていたからこそ、今回のチャンスを得ました。コミュニケーションを図りながらチームワークで取り組んだ経験の価値は計り知れませんが、10年後、20年後に振り返ったときに、その有難みに気づいてもらえればいいですね。

Q: 工業高校の生徒に求められるものとは?

これからのものづくりは、ロボットが担えるところは、更にロボット化が進みます。工業高校の生徒は、ロボットを作る側にも使う側にも進むことができますが、彼らが担うところは、技術とコミュニケーションを用いて、ロボットを据え付けたり、使う側が使いやすいように調整をしたりするなど、ロボットを作る側と使う側のつなぎ役だと思っています。

Q: 地域産業との関わりは?

工業高校で学んだことを社会で生かしていくためには、正しい職業観と専門性を持ち、地域産業と結びつくことが大事です。自分達が住む地域にある会社や製品を知り、また、地域の外に出て地域産業の違いを知ること、生徒が地域の良さに気づき、自分なりの職業観を持って地域に貢献できる人物になればと期待しています。

Q: 若者への応援メッセージ

ものづくりを存分にしてもらい、自信をつけて社会に出てもらいたいですね。自信を持てば、社会に出て自分でも何とか道を切り開いていくことができます。長井工業高校は、ものづくりを楽しみ、そして自信をつけるための学び舎として、地域の若者を応援します。



産業経済企画課 0238-26-6045

高校生を対象とした現場見学会

建設総務課 0238-26-6099



建設分野における若年者の入職者は減少しており、建設技術・技能の継承が課題となっています。置賜地域の状況も同様であることから、建設業各分野の具体的なイメージを持ってもらうため、(一社)建設業協会と県が協働で高校生を対象とした現場見学会を実施しています。

6月26日には、米沢工業高校1年生、約80名の生徒が土木・建築の工事現場やアスファルト工場を見学しました。県事業である吉野川の工事現場では、身近で起こった災害現場がどのように復興していくのか、皆興味を持って説明を聞いていました。

今後も、建設業の仕事は、自分の住んでいる地域のためになり、やりがいのある仕事だと理解を深め、興味・関心を持ってもらえるよう、現場見学会を実施していきます。

保健だより

熱中症の予防には、水分補給と暑さを避けることが大切です！

夏真っ盛りのこの時期、熱中症の発生はピークを迎えています。熱中症は、高温多湿の環境条件だけでなく、個人の体調も影響します。また、屋外での活動時だけでなく、就寝中など室内でも起こりやすく注意が必要です。症状は、大量の発汗や頭痛、体のだるさ、吐き気などですが、重症になるとけいれんや意識障害が起こり、救急搬送されたり、死亡したりする事例が報告されています。

予防のためには「水分補給」と「暑さを避けること」が最も重要です。こまめな水分・塩分補給、服装の調節、エアコンの適切な使用、屋外では帽子・日傘で日光を遮ることが大切です。高齢者や乳幼児は特に注意が必要です。のどの渇きを感じなくてもこまめに水分補給をし、暑さを感じなくても扇風機やエアコンなどで温度調節することを心がけましょう。正しい知識を持ち、熱中症を防ぎましょう。

◎地域保健予防課 0238-22-3205



事業報告

「新規採用職員・3年目職員との意見交換会」及び「七夕の集い」の開催

7月7日に置賜総合支庁本庁舎にて、組織の活性化などを目的に「新規採用職員と採用3年目職員との意見交換会」を行いました。新採職員からは、県職員になって3カ月を経た感想や悩みなどの発言があり、それに対し3年目職員からは、新採職員へのアドバイスや1年目と現在の心構えの違いなどの発言がありました。新採職員にとっては職業意識の高揚、3年目職員にとっては先輩として自信が深まるなど良い機会となりました。



ちょうどこの日は七夕でもあったため、米沢市内で「七夕の集い」と称し、3年目職員が中心となり若手職員同士の懇親会が行われました。約40名の参加があり、部署を超えてコミュニケーションを図りました。

◎総務課 0238-26-6005

お知らせ

平成27年度 置賜文化ホール自主事業 山形県能楽の祭典

国民文化祭の開催を機にスタートした「能楽の祭典」では、県内各地から各流派の能楽愛好団体を米沢に迎え、能番組の一番の山場を切り取った部分を、「連吟」、「連調」、「仕舞」、「舞囃子」といった様々な上演形式で披露します。

また、地元米沢を拠点に活動する「伝国の杜こども狂言クラブ」も和泉流狂言、小舞の披露を行う予定です。

入場無料となっています。ぜひご覧ください。

■日時：9月13日(日) 午前10時開演

■会場：置賜文化ホール

(米沢市丸の内1-2-1 TEL0238-26-2666)

■料金：無料(どなたでもご自由に入場いただけます。)

◎地域振興課 0238-26-6018

「山形おきたま産直市」朝市 好評開催中！

毎月第1土曜日の「山形おきたま産直市」が好評開催中です。この朝市では「東南置賜直売ネットワーク」(農産物直売組織9組織で構成)の会員が、新鮮野菜や果物、自慢の漬物やお菓子等の加工品、花などの直接販売を行います。また、季節のかわりご飯の振舞いやスタンプラリーも好評です。8月のかわりご飯は枝豆ご飯を予定しています。スタンプラリーは、来場ごとにスタンプを貯め、3個以上集めると12月の抽選会でプレゼントが当たります。

生産者とのふれあいを楽しみながら、置賜の味を満喫しませんか。会員一同、皆様をお待ちしております。

■日時：6～12月の毎月第1土曜日 8:00～9:00

(8/1、9/5、10/3、11/7、12/5)

■場所：置賜総合支庁本庁舎玄関前広場

(米沢市金池7-1-50)

◎農業技術普及課 0238-57-3411

9月10日～16日は「自殺予防週間」です

9月10日の「世界自殺予防デー」から16日までは自殺予防週間です。

置賜地域では、平成25年に自殺で亡くなられた方が58人います。自殺は、経済・生活・健康・家庭等の様々な問題が原因となっています。自殺に至る前、多くの方は「うつ病」等の精神疾患を患い、正しい判断ができない状態になっています。自殺予防のためには、まず心の状態に早期に気づく必要があります。

●あなたも“心のサポーター”の輪に加わりませんか？

自殺を考えている人は悩みながらもサインを発しています。

“心のサポーター”とは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、

話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。次の4つのポイントを心がけ、大切な人のいのちを守りましょう。

- 1 **気づき** 大切な人の変化に気づいて、声をかける
- 2 **傾聴** 本人の気持ちを尊重し、話を聴く
- 3 **つなぎ** 早めに専門家や病院に相談するよう促す
- 4 **見守り** 温かく寄り添いながら、あせらずに見守る

ひとりで悩まずに、まずは相談しましょう。

置賜保健所では、保健師の他に精神科医による相談も行っております。

●ご相談・お問い合わせ 地域保健予防課 0238-22-3015

発行元

置賜総合支庁 総務企画部
総務課 総務係

TEL 0238(26)6100

FAX 0238(24)1402

皆さまのご意見・ご感想をお待ちしております。

いま・ここ・おきたま

庁舎南側壁面の太陽光発電パネルに、真夏の日差しが照り付けています。今年1月末に取り付け工事が終了し、初めての夏を迎えました。48枚のパネルで生みだされた電気は地下の蓄電システムに貯蔵され、敷地内の外灯や庁舎ロビーのダウンライトに常時利用される他、地震災害などの停電時に使用出来るコンセントに電力を供給します。大変暑い置賜盆地の夏ですが、今年はお日様の恵みを日々実感しています。(置賜総合支庁西庁舎)

